

ECN300 アントレプレナーシップ論

3年 1,2クォーター

担当教員 竹本 拓治

授業形態 講義,

アクティブ・ラーニング 一部導入

単位数 2

曜日・時限 月曜日・4時限

授業概要

世界には、従来の分野では解決が実現できなかった深刻な課題が多数存在する。そして常に新たな課題が生まれている。従来の技術を応用し、時には様々な技術を結集させ連携することで、その課題解決につながる可能性がある。これがイノベーションの目的であり、それを支えるのがアントレプレナーシップ(起業家精神)である。本科目では、アントレプレナーシップとイノベーションの関係や、起業の社会的なインパクト、という基礎的な概念を学んだ上で、起業のマーケティングと販路開拓、組織づくりと人材育成、資金調達、財務管理、企業成長段階といった起業の方法や過程を学ぶ。その上で、ビジネスプランの作成や 起業事例研究を通じて、地域を発として、グローバルな市場で勝ち抜くビジネスノウハウを身に付ける。そしてアントレプレナーシップを身につけることにより、地域から世界にイノベーションを起こす人材を輩出することが、本科目の最終的な希望である。

到達目標

アントレプレナーシップとは何かを理解し、新規ビジネスをプロデュースできる力を身につける。

先修科目

特になし

教科書・参考資料等

三枝省三・竹本拓治編著「アントレプレナーシップ教科書」中央経済社、2016年

授業の方法

講義形式ですすめるが、必要に応じてグループ討論を取り入れる。ビジネスモデル策定に係る学外活動を課す場合がある。

成績評価

学期末レポート(地域や専門等を基にしたビジネス等の創造を要求する内容である)や期末試験(暗記力を問うものではないので、教科書や参考書等の持ち込みを可とする)の他、本授業に関係する課外活動等に関し加点評価を行うことがある。

成績

学期末レポート(50%)

期末試験(50%)

授業スケジュール

1. オリエンテーション
2. アントレプレナーシップとイノベーション
3. 起業戦略と社会的インパクト
4. 起業と社会とのかかわりのまとめ
5. 現代社会における起業
6. 起業のマーケティングと販路開拓
7. 起業の組織づくりと人材育成
8. 起業の資金調達
9. 起業の資金管理
10. 起業のマネジメントのまとめ

- 1 1. スタートアップから企業成長段階へ
- 1 2. サービス系のベンチャービジネス
- 1 3. 社会企業とその方法
- 1 4. 知的財産とベンチャー
- 1 5. ベンチャーの成長と多様なスタイルのまとめ

事前・事後学習

予習：各回の授業前に経済に限らず、時事話題全般のニュースを確認しておくこと。

復習：教科書の章末にあるレベル別課題に挑戦し、テーマ毎の内容を整理すること。